



東中学校 学校だより



9月号(令和6年9月3日発行) 学校HP

TEL 042-471-2765 FAX 042-472-7995

実りある2学期に向けて

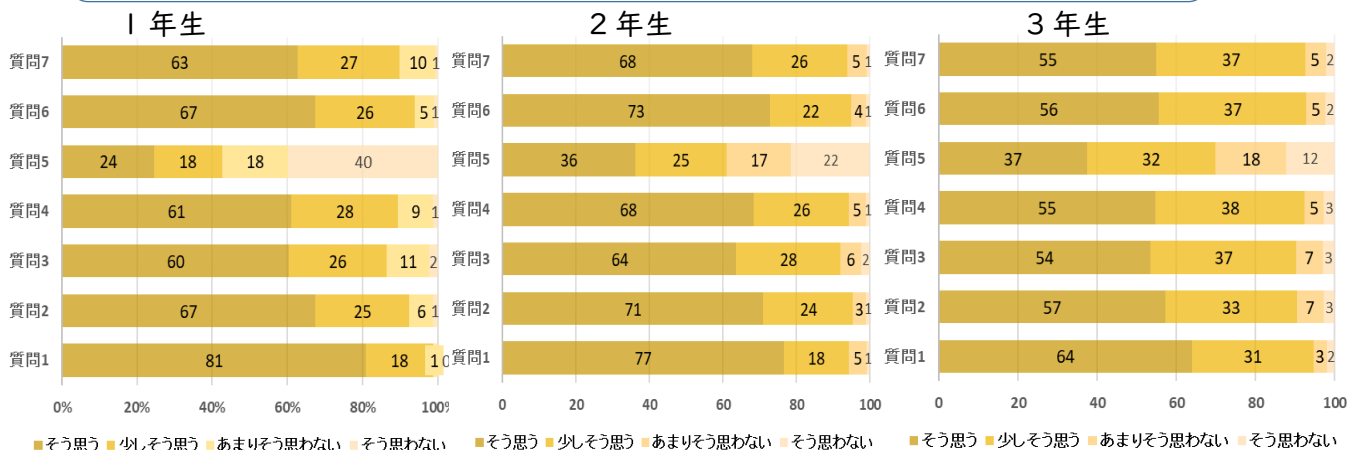
校長 中川 義弘

いよいよ2学期がスタートしました。最近では春や秋の過ごしやすい気候が短いような気がします。ですが学校は3年生の修学旅行、1・2年生の校外学習、そして文化祭と行事が多く、学習やスポーツ、芸術など様々な活動を通して成長するチャンスです。正に実りの秋になるよう願っています。そのために、1学期の反省を忘れずに同じ失敗を繰り返さないよう2学期の好スタートをきりましょう。

さて、夏休みの期間中、校舎内整備のため西校舎階段付近にあった様々な物品を片付けることになりました。その際、部活動に来ていた生徒の力を借りたのですが、部活の練習のために来ていたにもかかわらず、どの生徒も不平を一言も言わずに快く手伝ってくれました。暑い中、こちらの予想よりもとって早く片付けることができました。東中の生徒の優しさと奉仕の心が改めて感じとれました。この件のみならず、教室のカーテンを洗濯するために取り外したり、取り付けてくれたりした部活の生徒もいました。また、急な作業にもかかわらず、本校の教員や用務主事も精力的に動いてくれました。協力的な生徒と教職員集団が東中のいい点です。誰かのために役に立ちたいという気持ちのある生徒が東中には多いという全国学力・学習状況調査の結果にも表れています。中学校で人のためになる活動をもっと取り入れて、その大切さや自己有用感を育てていきたいと考えています。2学期も保護者・地域の皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

1学期末に生徒の皆さんに授業アンケートを実施しました。学年別の結果をお知らせします。

- 質問7. 単元や学期毎の評価について丁寧に説明してくれる。
- 質問6. 質問に対する対応が丁寧で、わかりやすく教えてくれる。
- 質問5. ICT(タブレット等)を活用して授業に取り組んでいる。
- 質問4. 考える時間が十分にあり、発表したり、学習を振り返ったり機会がある。
- 質問3. グループで交流して、他者の意見を知る機会が十分にあり、自分の考えや意見を深めることができる。
- 質問2. 説明・指示や板書が丁寧で、授業がわかりやすい。
- 質問1. 授業規律が守られており、安心して授業を受けることができる。



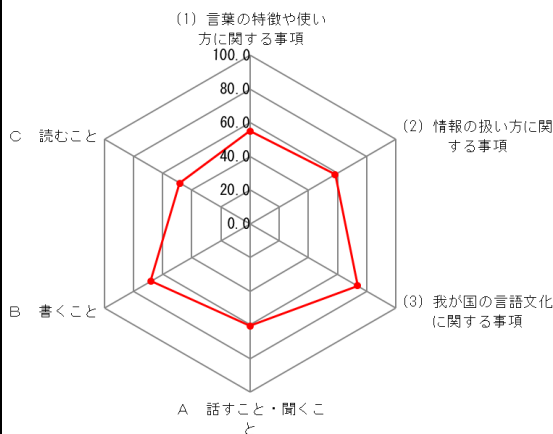
質問5以外は、ほぼ9割以上の生徒が肯定意見でした。ICT(タブレット等)の授業での活用が課題です。少しずつ改善されてはいるものの、まだまだ効果的な活用を進めていく必要があります。引き続き授業改善を進めて参ります。

○全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日に3年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果がまとめられました。学校における教育活動の一側面ではありますが、今回は、国語と数学の学力調査と意識調査が行われ、調査結果を踏まえて、本校の授業改善推進プランを作成、10月を目途にホームページ等を通じてお知らせします。ここでは、国語と数学の本校の調査結果と考察、意識調査については本校の経年変化の結果を一部お知らせします。

国語

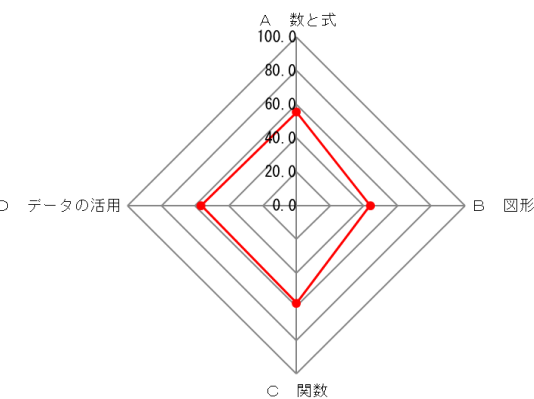
分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)
				本校
		全体	15	58
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	3	55.1
		(2) 情報の扱い方に 関する事項	2	58.3
		(3) 我が国の言語文化に 関する事項	1	73.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	60.6
		B 書くこと	2	68.1
C 読むこと		4	48.3	
評価の観点	知識・技能	6	59.3	
	思考・判断・表現	9	56.8	
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	9	61.7	
	短答式	3	60.6	
	記述式	3	43.1	



「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」の技能別で見ると、「読むこと」の正答率が最も低く、48.3%でした。特に、説明文と図表を結び付けて解釈したり、目的に応じた情報を基に要約したりすることに課題が見られる生徒が60%いました。また、記述式の問題に取り組まない生徒が15%程度おり、正答率も43.1%でした。授業では、初読の感想や作品の解釈等、文章中の表現を根拠にして自分の意見を記述する機会を増やし、文章を書くことに対する苦手意識を減らしていくことが肝要です。

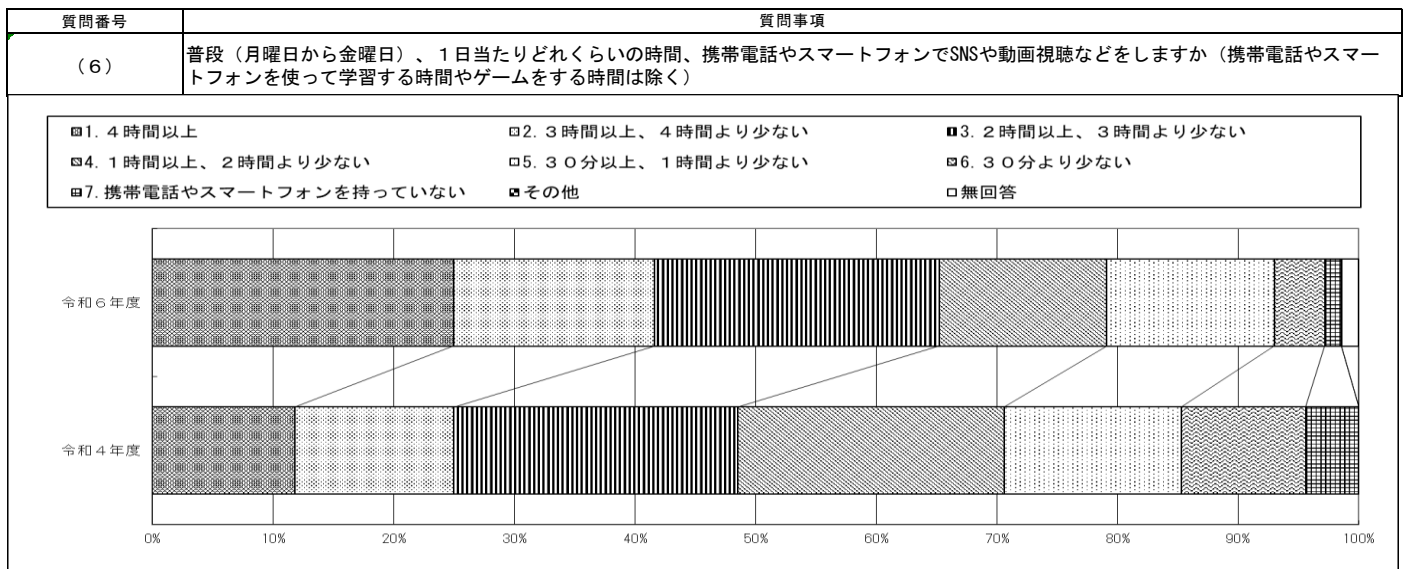
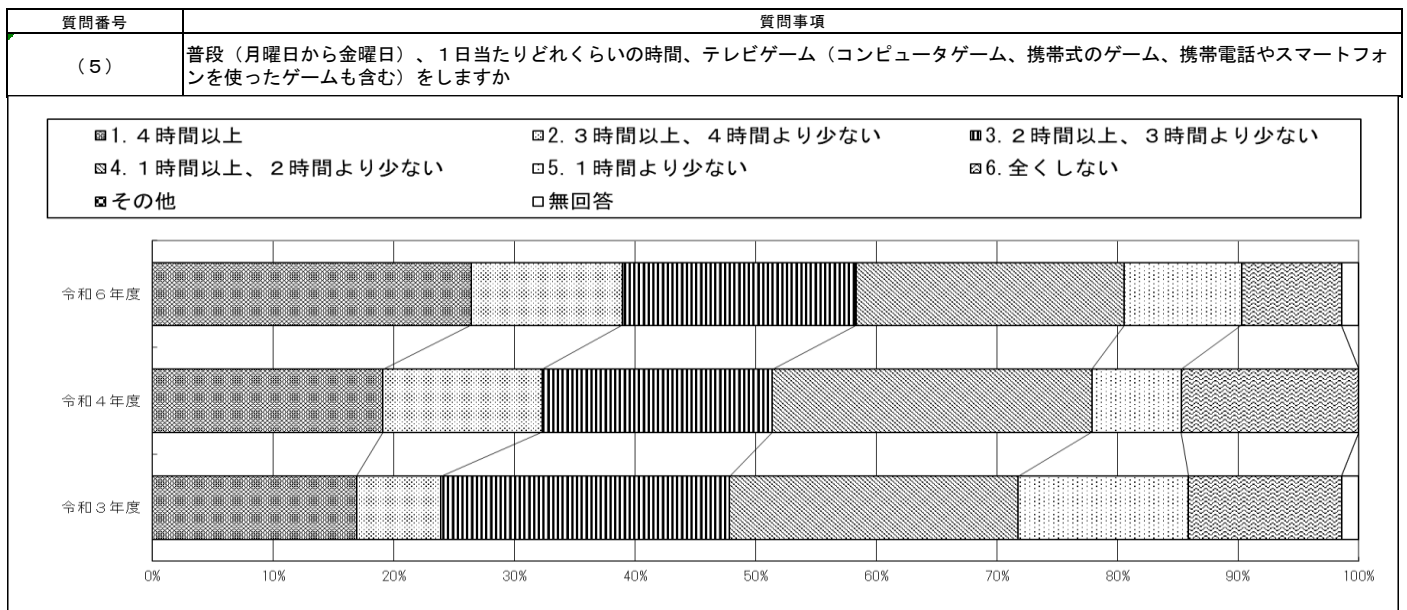
数学

分類		区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)
				本校
		全体	16	54
学習指導要領の領域	A 数と式	5	55.3	
	B 図形	3	44.0	
	C 関数	4	58.0	
	D データの活用	4	56.6	
評価の観点	知識・技能	11	62.8	
	思考・判断・表現	5	35.3	
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	56.9	
	短答式	6	67.6	
	記述式	5	35.3	

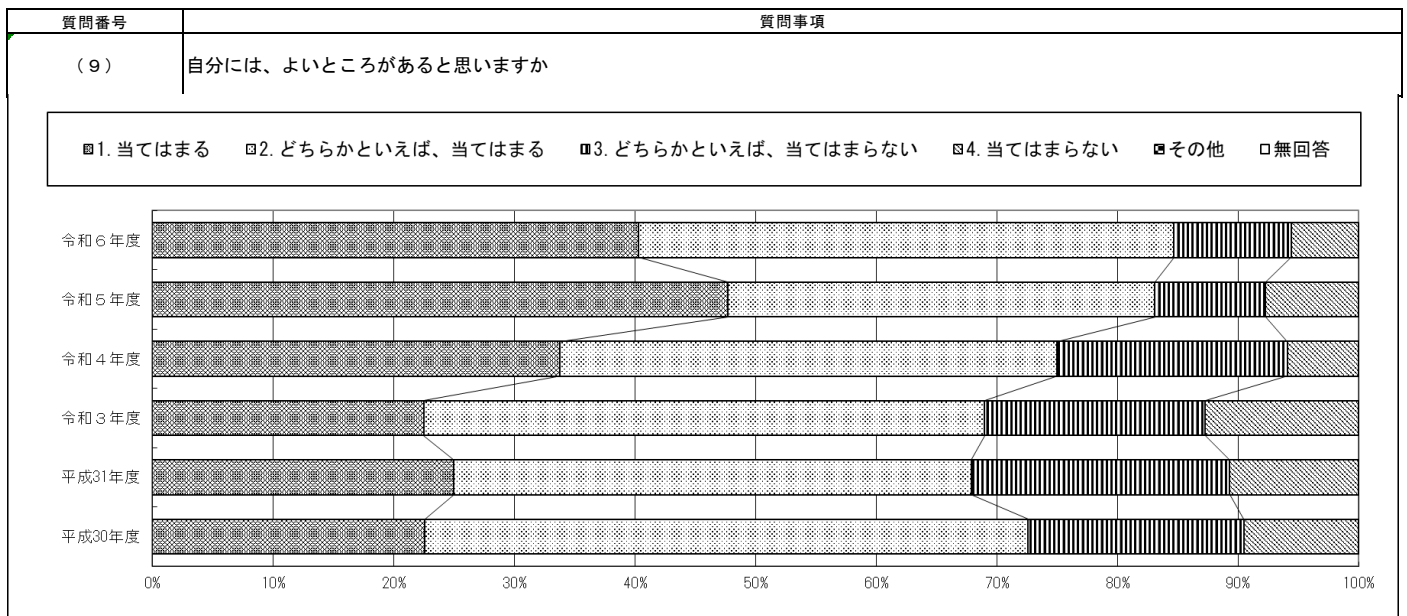


今回の全国学力・学習状況調査の結果から、特に図形の領域で苦手な部分が見受けられました。個別の問題を見ると、知識・技能の観点を見る問題の正答率は比較的高いが、データを読み取り、その判断の理由を数学的に説明したり、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を数学的に説明したりする問題など、思考・判断・表現の観点で低い正答率が示されました。また、一部の問題で高い正答率を示す一方、無回答率も高く、数学的思考の得意・不得意の差が顕著に表れました。今後は、図形や関数(グラフ)など、紙面上で理解しにくい問題についてはICT機器を用いて視覚化し、理解を深めていく予定です。また、証明を通じて論理的・数学的な解決方法を導き出し、数学的に表現する練習問題を繰り返し行います。さらに、グループワークやディスカッションを取り入れ、他者の考え方を考察することで、思考の幅を広げていきます。

<意識調査の経年変化より>

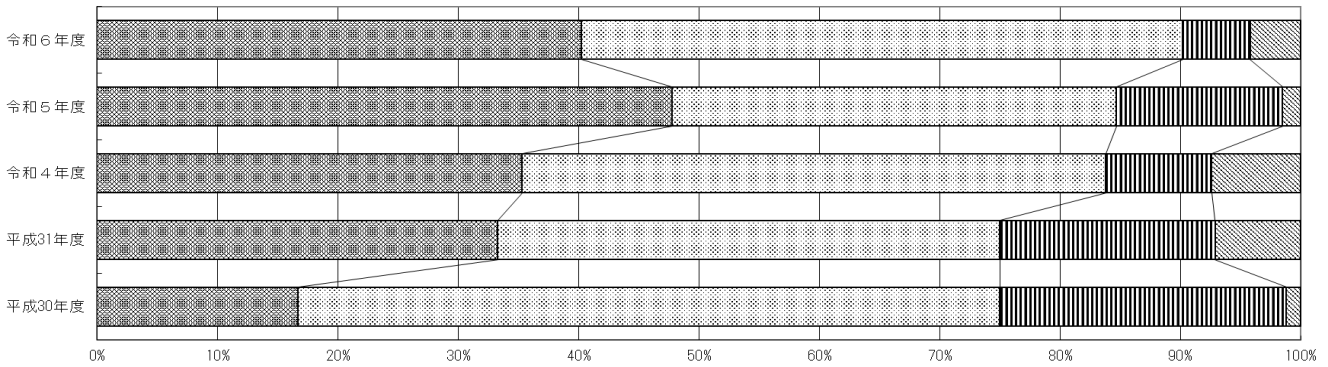


スマートファンの普及により、普段の日にゲームや SNS、動画視聴などをして過ごす時間が年々増えている傾向にあります。半数以上の生徒が2時間以上、4時間以上の生徒も2割を超えていました。時間や内容について、節度ある使い方を各ご家庭でもご指導いただければと思います。



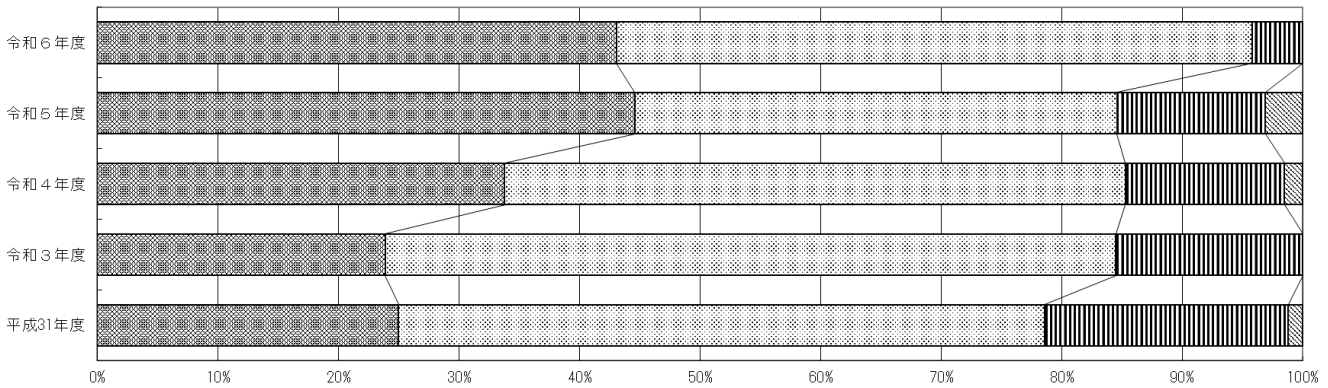
(10) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



(12) 人が困っているときは、進んで助けていますか

■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



本校の生徒は、自分には良いところがあると思える生徒が増えており 8 割を超えています。また、先生が自分の良いところを認めてくれていると思う生徒も増加傾向にあり 9 割を超えています。また、周りの人が困っているときには進んで助けようという生徒の増加もみられます。本校の行事への取組や生徒同士、生徒と教員のつながりを大切にしていることが、自己肯定感の高まりや学級学年で助け合おうという態度に結び付いていると思います。今後も、生徒が安心・安全に学校生活を生き生きと送れる充実感のある教育活動を進めてまいります。

○生徒の活躍

- ・サッカー部 東京都中学校総合体育大会 都大会
1回戦 東久留米東・南中 対 東京朝鮮中 2対0
2回戦 東久留米東・南中 対 修徳中 0対6



見事1回戦を勝利しました。2回戦は第1シード校の修徳中に敗れましたが、全員が最後まで全力で頑張りました。
東久留米市中学校スポーツ大会 東中・南中合同チーム 優勝

- ・女子バレー部 東久留米市中学校スポーツ大会 3位入賞 優秀選手賞 ●● ●●さん
- ・バドミントン部 東久留米市中学校スポーツ大会 男子団体戦 優勝
男子個人戦 1年男子ダブルス 優勝 ●● ●●さん、●● ●●さん
準優勝 ●● ●●さん、●● ●●さん
●● ●●さん、●● ●●さん
- ・吹奏楽部 第64回東京都中学生吹奏楽コンクール B組 銀賞 吹奏楽部部长賞 ●● ●●さん